

交通安全啓発事業

[575]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0101	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	交通安全意識の高揚	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	地域住民、歩行者、運転者、小学生、保育園児等	啓発活動を実施 ・幼稚園、保育園、児童館、小・中学校交通安全教室 ・スケアード・ストリート体験型自転車交通安全教室 ・体験型交通安全教室 ・交通安全に関する出前講座
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	・交通安全運動期間における交通安全キャンペーン(横断事故防止キャンペーン、自転車利用生徒へ安全啓発、飲酒運転根絶、シートベルトチャイルドシート着用等) ・交通安全街頭監視活動(交通死亡事故ゼロの日、県下一斉大監視) ・交通少年団啓発活動補助 ・健康フェスタ・市民祭において、交通安全コーナーの開設
	交通安全啓発活動を実施することにより、市民一人ひとりが交通ルールを遵守している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 交通安全啓発活動開催回数	回	90	84	60	47	
	B						
成果指標	C 交通安全啓発者数	人	7,367	6,713	4,100	2,826	
	D						
事業費 計			2,744	2,246	3,432	2,441	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他				932	
		オ 一般		2,744	2,246	2,500	2,441

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 遅延あり	(状況)交通安全啓発は、昨年度に比べ開催回数が37回減少し、参加者は3,887人減少した。 (原因)新型コロナウイルスの影響で実施を中止せざるを得ない事業が多かった。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、啓発活動の開催を自粛せざるを得ない状況になる場合が多かった。啓発活動の内容が制限される中、非接触型の啓発活動として、啓発展示等を増やした。啓発展示については啓発者数の集計ができないため、指標には反映されていない。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	高齢者の運転免許証自主返納をさらに促進するため、引き続き、関係課と連携した取り組みを行います。自転車条例について近隣市町の動向を調査します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	高齢者の運転免許証自主返納の啓発物品の種類にヘルメットを追加する等して充実した。愛知県が「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を令和3年3月に制定し、令和3年4月1日から施行された。		

交通安全活動団体支援事業

[578]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0201	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	市民参加の交通安全活動の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	交通安全活動団体	行政、警察、交通安全活動団体が一体となって、交通安全街頭監視ならびに交通安全啓発活動(スーパー店頭、駅前等街頭での交通安全の呼びかけ、啓発物品の配布、各種路上キャンペーン等)を行う。 【交通少年団】 ・市内の小3~小6の児童で構成され、交通安全学習会や市の交通安全キャンペーン等への参加するとともに、市から委託を受け幅広い交通安全啓発活動を実施。 ・交通少年団経験者の中学生や高校生がリーダーとして、団員の指導を実施。 【守山尾張旭交通安全協会】(平成19年度~補助金の拠出を取りやめた。) ・四半期ごとに交通安全運動に参加。事務局は守山署 【守山尾張旭交通安全推進協議会】(平成18年度~補助金の拠出を取りやめた。) ・ボランティアで交差点での街頭監視等を実施。事務局は守山署 【交通安全尾張旭サポート】 ・市内在住の交通安全活動に賛同するサポーターで組織され、市民の交通安全の意識高揚と交通事故の撲滅を目的に街頭監視を実施。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

補助団体による交通安全啓発活動等の実施により、市民一人ひとりが交通ルールを遵守している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 委託料	千円	100	100	100	100
	B					
成果指標	C 交通安全市民団体のべ活動回数	回	251	37	250	28
	D					
事業費 計			100	100	100	100
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		100	100	100

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(現状) 昨年度実績と比較して9件減少し28件。</p> <p>(原因) R2年度はコロナ感染防止対策のため、市民団体参加の事業を自粛したことにより活動回数が減少した。 成果指標Cは、今年度、「交通安全市民団体の会員数」から「交通安全市民団体のべ活動回数」になったため、比較できない。</p>
--------	--	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	R2年度はコロナ感染防止対策のため、市民団体参加の事業を自粛し実施した		

放置自動車撤去事業

[579]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0301	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	長期路上放置自動車	長期路上放置自動車を発見後、警告書貼り付け、警察署への廃棄物認定協議、廃棄物認定等の手順により放置自動車を処理する。
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
	路上に自動車が放置されていない。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 路上放置処理対象自動車台数	台	0	0	0		
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計		千円					
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般					

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

あんしん歩行エリア整備事業

[582]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0303	実施計画	対象
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	エリア内の市が管理する道路 エリア内の道路利用者	印場・瑞鳳地区 約143ha 平成15年度 あんしん歩行エリアの地域指定 事業計画の策定 平成16年度～ 工事実施 平成22年度 事業完了
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	三郷北地区 約11ha 平成22年度 整備プランを策定 平成23年度～ 工事実施 平成28年度 事業完了
	側溝の有蓋化などにより、安全な歩行空間が確保できている。	三郷南地域 13.4ha 平成28年度 整備プランを策定 平成29年度～ 工事実施予定 令和5年度 事業完了予定

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A あんしん歩行エリア整備延長	m	46	133	355	207
	B					
成果指標	C あんしん歩行エリア整備率	%	8	15.5	37.4	31.3
	D 人身事故発生件数	件	8	7	10	4
事業費 計			1,989	6,577	6,600	10,793
財源内訳		ア 国		2,500	3,300	5,610
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,989	4,077	3,300

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)整備率は前年度実績と比べ15.8P向上している。人身事故発生件数は42.9%向上している。 (原因)交付金の補助金が増加し事業を推進できたため、前年よりも整備率が向上した。人身事故発生件数は年々減少しており、整備効果が発現し始めているものと考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

交通安全施設維持管理補修事業

[580]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0306	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道路利用者 市の管理する道路上にある交通安全施設 (公安委員会管理施設除く)	市民(道路利用者)からの通報及び日常パトロールにより発見された生活道路上の安全施設(道路照明灯、防護柵、道路反射鏡等)の異常等に対し、適切な補修等による保全を行う。 ・材料を購入し、市作業員により施行する。 ・請負業者により施行する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
安全な道路環境を保全し、道路利用者が交通事故に遭遇しないようになっている		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 維持補修を実施した箇所数(単年度)	箇所	63	129	160	131
	B 苦情・要望により処理した件数	件	63	129	160	131
成果指標	C 交通事故件数	件	342	308	295	186
	D					
事業費 計			17,549	18,290	18,555	17,721
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	17,549	18,290	18,555

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)交通事故発生件数は前年度実績と比べ39.6%向上している。 (原因)交通事故発生件数は近年減少している。これは、交通安全施設の適切な維持管理によるものと考えられる。
--------	--	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

交通安全施設整備事業

[581]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0307	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路 道路利用者	<p>下記箇所から整備の必要箇所を選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民等からの要望箇所 ・事故発生箇所 ・市の道路パトロール等で整備必要と判断した箇所 <p>現場を調査し、安全対策を検討する。 必要に応じ警察と協議する。 道路安全施設整備工事を設計する。 工事を実施する。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・H20年度 交差点のカラー化を実施(狩宿橋、印場橋北、庄中町北) ・H22・23年度 路肩のカラー化(通学路)を実施 ・H23年度 交差点のカラー化を実施(国道363号 南新町中畑) ・H27年度 交差点のカラー化を実施(稲葉町) ・R 2~4年度 矢田川堤防道路の防護柵設置による歩行者防護(瀬戸川町)
	道路の交通安全環境が良好に整備され、利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路になっている	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 道路の安全施設整備箇所数(単年度)	箇所	23	26	20	26	
	B						
成果指標	C 交通事故件数	件	342	308	295	186	
	D						
事業費 計			23,059	17,088	16,600	16,528	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	23,059	17,088	16,600	16,528

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調	(状況)交通事故発生件数は前年度実績と比べ39.6%向上している。 (原因)交通事故発生件数は近年減少しており、これは、交通安全整備事業により適切に交通安全施設の整備効果が発現したためと考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

南栄6号線整備事業

[1321]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0311	実施計画	対象
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市道南栄6号線の道路利用者(車両、歩行者)	R1 現地測量 基本設計 公安委員会協議 R2 不動産鑑定評価 用地測量
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	R3 用地買収 R4 詳細設計 用地買収 R5 用地買収 R6 工事 R7 工事
	車道をを拡幅し、一方通行から対面通行にする。歩道を設置し歩行者、自転車の通行の利便性向上や、周辺道路との連続性が確保されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 道路整備延長(m)	m		0	0	0
	B					
成果指標	C 整備率(事業費ベース)(%)	%		3	19	7
	D					
事業費計				7,403	12,120	12,020
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県			6,000	5,692
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般			7,403	6,120

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	<p>(状況)事業計画通り、不動産鑑定評価及び用地測量を実施した。 成果指標は全体事業費の変更により整備率(事業費ベース)が低下した。</p>
--------	--	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	引き続き、市道南栄6号線の道路拡幅事業を進めます。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
事業計画通り、不動産鑑定評価及び用地測量を実施した。			

交差点改良事業

[1322]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0312	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	道路利用者 (車両)	R2 公安委員会協議 交差点予備設計 現地・路線測量 R3 関係機関協議 R4 交差点詳細設計 用地測量 不動産鑑定評価 R5 用地買収 交差点改良工事
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
	右折車線を設置することで、道路の利便性を高め、渋滞を解消できるようにする。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 交差点改良箇所数 (箇所) (R03~道路改良箇所数 (箇所))	箇所		0	0	0	
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計		千円			3,000	2,926	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般			3,000	2,926	

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

高齢者交通安全事業

[1326]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0401	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	高齢者の交通事故対策の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者への運転免許自主返納支援 70歳以上の自主返納者に記念品を配布し、自主返納を支援する。 (R2年度実績) 253人 (R1年度実績) 302人 (30年度実績) 181人 (29年度実績) 161人 運転免許証の自主返納者への支援の充実を図るため、30年度から「あさびーバス回数券」のほか「反射材付きリュック」、「ショッピングカート(数量限定)」、「あさひ苑優待券」を加え、選択制にし配布。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
高齢者が事故を起こさず、事故に遭わないようになっている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 啓発回数	回		13	10	1
	B					
成果指標	C 運転免許証の自主返納者数	人		302	160	253
	D 高齢者の死傷者数	人	59	70	55	36
事業費 計				315	331	3,060
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				1,323
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般			315	331

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 運転免許証の自主返納者数は昨年度に比べ49人減少し、また高齢者の死傷者数は34人減少した。なお、死亡者は0人である。 (原因) 高齢者を含む交通事故が全体に減少したため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	愛知県が自転車の安全で適正な利用促進に関する条例が施行されたことに伴い、市においても愛知県と協調し自転車乗車用ヘルメット着用推進補助金の交付要綱を制定した。		